

行政改革大綱実施計画書

| | | | | | | |
|--|--------------|---|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| 大綱主要項目 | | 組織の適正化と人材育成・強化 | | | | |
| 具体的な項目 | | 人材の育成・強化 | | | | |
| 実施計画項目 | | 自己啓発支援制度 | | | | |
| 担当課 | | 総務課 | 関係課 | 全課 | | |
| No. IV-2-(3) | | 令和3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| 実施年度 | 実施計画 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| | 効果又は 数値目標 | 通信教育 20 人 自主研究・ 視察支援 5 件 | 通信教育 20 人 自主研究・ 視察支援 5 件 | 通信教育 20 人 自主研究・ 視察支援 5 件 | 通信教育 20 人 自主研究・ 視察支援 5 件 | 通信教育 20 人 自主研究・ 視察支援 5 件 |
| 進捗 状況 | 実績 | A | A | | | |
| | 効果又は 数値実績 | 通信教育 29 人 自主研究 2 グループ 視察支援 0 件 | 通信教育 24 人 自主研究 1 グループ 視察支援 0 件 | | | |
| 現状と課題 | | | | | | |
| <p>「真岡市人材育成基本方針」に基づき、自己啓発支援として通信教育研修受講者に対し受講料の半額を補助、している。また、自主研究グループに対して1件5万円の支援（R4年度）を行っている。</p> <p>職員が自己啓発に取り組む職場風土をつくるとともに、研究成果を具体化できる力（企画提案力）の向上を促す取り組みが必要となっている。</p> | | | | | | |
| 課題解決に向けた方策 | | | | | | |
| <p>通信研修については、職員のスキルアップにつながるよう、また、職員にとって魅力的なメニューとなるよう、随時見直しを行い、受講者数の増加を図る。</p> <p>自主研究グループ支援については、年度当初、職員に対して制度の周知を図り、参加者を募る。自主研究グループでの活動を通じて自由な政策提言を行うことで、企画提案力をもつ職員の育成を図る。</p> | | | | | | |
| 具体的な取組内容 | | | | | | |
| <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信教育については、市の重点事業や前年度受講者のアンケート結果をもとに、研修担当がより業務に役立つ内容のものを精査し、受講希望者を募集した。 自主研究グループについては、「にぎわい創造部」1グループに対し、要綱に基づき支援を行った。 | | | | | | |
| 実績考察（理由、改善すべき点等） | | | | | | |
| <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信教育の受講者数については、通信教育のメニューを精査し、より業務に役立つ内容のものにしたことで、目標を上回ることができたと考えられる。その結果、24人が受講し、うち23人が修了した。 通信教育に関する改善すべき点、課題としては、受講者層の拡大が挙げられる。 自主研究グループについては、令和4年度は1グループのみであり、新たな自主研究グループを増やし、関わる職員を増やす必要がある。 行政研究視察研修については、コロナ禍による実施自粛により、実績がなかった。 | | | | | | |
| 考察を踏まえての今後の取組方針 | | | | | | |
| <p>【令和5年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信教育の研修内容を見直し、メニューを充実させることにより、新たな職員に受講してもらえるよう周知する。 人材育成通信を通じて、自主研究グループの募集を行い、新たな自主研究グループを支援し、自己啓発活動の活性化を図る。 行政研究視察研修については、感染症状に十分配慮しながら積極的に実施する。 | | | | | | |